

ミクロとマクロをつなぐ新たな生物学の推進 と創薬への展開を目指す調査研究

Connecting micro and macro for novel biology and pharmaceutical developments

目的 Purpose

- ・ ミクロとマクロをつなぐ新たな生物学の創生という新たな知の創造と創薬への応用を通じた産業界への橋渡しを行う。
- ・ 異分野統合による新たな生物学的学問領域の創成
- ・ 創薬などの産業応用への展開

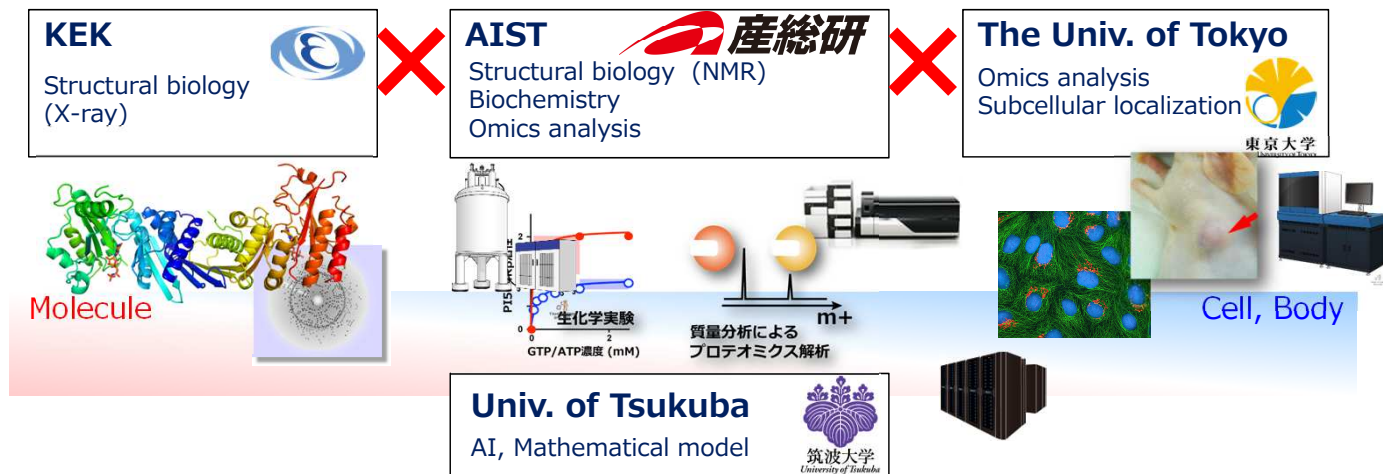
方法 Method

- ・ ミクロな分子過程に基づいて、細胞等のマクロな状態を理解可能な形式で記述する生物学手法を、幅広い分野による議論と調査研究により探る。
- ・ 創薬は、ミクロな要素（タンパク質など）に擾動を与え、マクロな異常（疾患）を治そうという試みであり、我々の目指す研究のモデルの一つ。

展望 Prospect

- ・ 抗がん作用を狙ったGTPセンサーに対する阻害剤がT-CreDoのAMED橋渡し研究戦略的推進プログラムの支援課題に採択されるなどの成果が挙がった。
- ・ 産総研では本研究の成果を基盤とする民間企業との技術コンサルティング5件、共同研究を1件受けており、今後さらに技術の社会実装を進める。

様々なレベルのバイオロジーが共通のテーマで切磋琢磨



GTPセンサーが細胞の増殖を制御する仕組みの解明と創薬応用

